

「おもしろ算数教室」パズル体験会 実践報告書

2014 織姫の里まつり「天の川七夕まつり」

実施日時：2014年7月26日（土）15：00～21：30

27日（日）15：00～21：00

実施場所：交野市 京阪「私市」駅前公園 「おもしろ算数教室」パズル体験ブース

体験者数：7月26日（土）…31名 7月27日（日）…60名 合計90名

スタッフ数：7月26日（土）…5名 7月27日（日）…6名 合計11名

7月26日（土）27日（日）、織姫の里まつり協議会主催「天の川七夕まつり」が開催され、「おもしろ算数教室」パズル体験会は、私市駅前13ブースの中の1つとして開催した。

初日の荷物搬入は12：00～と指定されていたので、Hさんと2名で運んだ。その後、ブースの看板を取り付けたり、机と椅子の配置をしたり、各ブースに割り当てられた2本の筐に七夕かざりを結びつけたりした。14：00頃には、スタッフ全員が揃った。

「おもしろ算数教室」パズル体験ブースでは、「算数パズル」基礎編…その1～その3のテキストの販売もした。他に、主催団体の強い要請で、「日本の古典文学紹介」コーナーを設けて、日本の古典文学を紹介する役目も請け負っていた。そこで、5名のスタッフの担当分野を決めておいた。パズル体験者に問題配布、添削…おもしろ算数教室サポーター2名、テキスト販売担当…2名、日本の古典文学担当…1名とした。パズル体験者が多い時には、5名のスタッフ全員が解答を見ながらパズルの添削に当たった。幸い、初日のスタッフ全員が「おもしろ算数教室」講座の体験者だった。内2名は上級修了者で、1名は初級修了者だが、9月2日から再開される「おもしろ算数教室」初級講座から再受講し、今回はサポーターを目指したいと考えている女性だった。このようにパズル体験豊富なスタッフを招集できたことは、大変心強くやる気満々の思いであった。

初日は、パズル体験コーナーの開催が初めての試みでもあり、体験する子ども達が少数だった。殆どの子ども達はお母さんと一緒だったので、子ども達がパズルを解いている間に、文学大好きなOさんが、お母さん達に日本の古典文学紹介を雄弁に語られたのだった。その文学は、A『声を出して読みたい日本語』齋藤孝著の編集版(田中暁子編集)冊子A3版16ページ&B「我が町『交野市』と歌枕」冊子A4版15ページ…田中暁子論文からであり、各30部準備して無料で配布したのだった。初日で13セット進呈した。

2日目の荷物搬入は13：30で、Tさんと2人で運んだ。折しも、雨が降っていたがどうにか2人でブース内の1つの机の上に全部の荷物を運んだ。開会時刻15：00には心配していた雨も上がり、6名のスタッフが勢揃いで体験者を待った。開会30分間程経っても食べ物コーナーは盛況だったが、こちらの通りには殆ど足を運ぶ人がいなかった。そこで、一念発起してパズル体験者勧誘を試みた。小学生の高学年で人気のありそうな男児に的を絞った。幸い、ビニールで作った小槌を得意そうに振り回していた男児に声掛けしたらパズルを体験してくれた。その後は友人達から輪が広がり、3脚の机に12名も並んで体験する場面さえもあった。一人が、若い市議員を勧誘してみたところ、快く体験された。彼は難しい「一筆書き」をすらすらと解かれた。パズルは彼の得意分野なのかも。

18:00を過ぎた頃には、優しい問題が無くなってしまった。中には、小学生低学年でも難しい問題に挑戦したい子どもがいたので挑戦して貰った。1名のスタッフは、以前聴いたことのあるサクソ演奏が19:20から始まるのでメイン会場の「星の里いわふね」に聴きに行った。彼女が帰って来た20:00を過ぎると客足がめっきり減ったので、他の4名のスタッフにも、他の会場の「天の川七夕まつり」の見物に出掛けて貰った。

閉会時刻の21:00には、準備していた殆どのパズルの問題は無くなっていった。

しかし、沢山準備していたテキストは、14冊販売出来たのみだった。このように落ち着かない場所では、ゆっくりとテキストを手にとって見る時間が無いので、テキストの販売には不向きだと言えるだろう。

一方、30セット準備していた「日本の古典文学」資料2種だったが、無くなってからも欲しい人が現れ、予備の2セットも進呈した。

私は、今回のように長時間開催するパズル体験のスタッフは初めてだったが、祭りの中の1ブースとしての参加の場合には、このような状況も容認した上での参加となるのは、当然だと思う。今回、お祭りの中のIブースとしてのパズル体験コーナーを主宰してみて感じたことを、数点挙げてみたいと思う。

祭りのIブースとして、「おもしろ算数教室」パズル体験会を開催する場合の留意点

- ◇長時間参加出来る信頼のおけるスタッフの確保
- ◇テーマに関する掲示物を作成出来るスタッフの確保
- ◇コラボ（今回は「日本の古典文学」）した目的に相応しいスタッフの確保
- ◇パズル問題を、無料で印刷させてくれる主催者を確保
- ◇全ての会場では無理だと思うが、コラボする体験コーナー等があると効果的

例：四天王寺古本市…おもちゃ作り ※今回は、近くに「おもちゃ作り」ブース有以上、「おもしろ算数教室」パズル体験会の報告でした。 文責：田中暁子

「天の川七夕まつり」スナップ写真



京阪電車「私市」駅前



大阪市大附属植物園の笹飾り



7/27(日)サクソの演奏



7/26(土)パズル体験一番乗り



7/27(日)スタッフ勢揃い



7/27(日)パズル体験ブースの前で



「おもしろ算数教室」パズル体験会 記録



7/26(土)15:00~21:30

7/27(日)15:00~21:00

単位：枚

N 0	パズル名	7/26 準備	体験	残り	追加	7/27 準備	体験計	残り
1	基礎編1 迷路2	20	20	0	20	20	40	0
2	基礎編1 迷路5	20	10	10	0	10	20	0
3	基：方陣2(9マス)	20	16	4	10	14	30	0
4	基：方陣3-2(16マス)	20	10	10	0	10	20	0
5	基：数字つなぎ3-1	20	2	18	0	18	20	0
6	基礎編V 回路1	20	2	18	0	18	20	0
7	基礎編V 回路1-4	20	3	17	0	17	14	6
8	基Ⅲ：一筆書き2-2	20	7	13	0	13	20	0
9	基礎編 一筆書き3	20	3	17	0	17	20	0
10	基1：迷路(応用)「かたつむり」	20	5	15	0	15	15	5
11	迷路X 「かえる」	0	0	0	10	10	9	1
計	11種	200	78	122	40	162	228	12

パズル体験者数：合計91名

7/26(土)・・・31名

7/27(日)・・・60名

パズル体験(使用)枚数：228枚

※体験枚数：1人…平均2.5枚

パズル印刷枚数：240枚

パズル残り枚数：12枚

「算数パズル」基礎編 テキスト販売数

合計：14部 ¥1,400

基礎編その1…3部

その2…4部

その3…7部

記録：「おもしろ算数教室」パズル体験ブース 責任者：田中暁子